



「宇美町読書の日」 子どもの本だな 夏号 増版



宇美町立図書館

【省エネの大研究】

しょう

だいけんきゅう

山川 文子：著

PHP研究所 J501ヤ

基本的なエネルギーの種類や、

なぜ省エネが必要なのかを解説

するとともに、身の回りのできる

省エネを具体例を交えながら

紹介。



【ねずくとらくんの あつい あつい あつい】

たるいし まこ：さく・え

福音館書店 J913タ

あまりの暑さにぐったりのねずくと猫のとらくん。うちわや扇風機を持ち出しますが、かえって暑くなってしまいます。頭にきたねずくんが、扇風機に八つ当たりすると・・・。



しょ めい
書 名

ちよ しゃ めい
著 者 名

しゅつばんしゃ
出版社

ぶん るい
分 類



【えほん】

- ・「海がやってきた」 アルビン・トレッセルト：文 BL出版 Eウ
- ・「わんぱくだんのなつまつり」 ゆきの ゆみこ・上野 与志：作 ひさかたチャイルド Eワ
- ・「うみにいったライオン」 垂石 眞子：作 偕成社 Eウ
- ・「なつのおうさま」 薫 くみこ：作 ポプラ社 Eナ
- ・「ねがいぼし かなえぼし」 内田 麟太郎：作 岩崎書店 Eネ

【よみもの】

- ・「スイカのすい子」 奥原 弘美：作 毎日新聞社 J913 オ
- ・「花火とおはじき」 川島 えつこ：作 ポプラ社 J913 カ
- ・「ま夏の夜は、たんけん！」 後藤 竜二：作 新日本出版社 J913 ゴ
- ・「うみのないしょだけどほんとだよ」 竹下 文子：作 ポプラ社 J913 タ
- ・「時のかなたの人魚の島」(シノダ!5) 富安 陽子：著 偕成社 J913 ト
- ・「リューンノールの庭」 松本 祐子：作 小峰書店 J913 マ
- ・「真夏のマウンド」 マイク・ルピカ：著 あかね書房 J933 ル

【その他の本】

- ・「ニガウリ(ゴーヤー)の絵本」 ふじえだ くにみつ・なかやま みすず：編 農文協 J626 ニ
- ・「海辺の生物観察事典」 小田 英智：構成・文 偕成社 J481 オ
- ・「夏休み昆虫のかんさつ」 小田 英智：文 あかね書房 J486 オ
- ・「6月のえほん」 長谷川 康男：監修 PHP 研究所 J386 オ
- ・「アイスクリームの絵本」 みやち ひろひと：へん 農文協 J596 ア
- ・「大自然とあそぼう① 海であそぶ」 アリス館 J786 ダ
- ・「知って楽しい花火のえほん」 冨木 一馬：作 あすなろ書房 J575 サ



「宇美町読書の日」 子どもの本だな なつごう



うみちょうりつとしまかん
宇美町立図書館

【うみべのおとのほん】

マーガレット・ワイズ・ブラウン・文
ほるぷ出版 Eウ



大きなボートにのって海にやっ
てきた子犬のマフィン。耳をすませ
ると、いろいろな音が聞こえてきま
す。それはどんな音かしら？

【スイカぼうず】

とみた 真矢：作・絵
BL出版 Eス



山・海・空のぬしたちもかなわない
スイカぼうず。ウサギに自分をひっく
りかえすのは小さな花だといわれた
スイカぼうずは、花が大きくなるのを
まちますが・・・。

【トマトひめのかんむり】

真木 文絵：作
ひかりのくに Eト



大きなトマトの株の根元に、緑色
のまだ小さくてかたいトマトが立っ
ていました。あたりをきょろきょろ
見まわしながら、何かを探している
ようです。

【なつですよ】

柴田 晋吾：作
金の星社 Eナ



山、海、川、田んぼ、公園…。いろ
んな場所に目を向けて、そっと耳を澄
ましてみると、さまざまな発見に出会
います。夏の訪れを喜んでいる生き
ものたちを見つけてみませんか？

【みずまき】

木葉井 悦子：作・絵
講談社 Eミ



真夏の午後、庭じゅうの生き物に
女の子がホースで水まき。生き物
たちが水を浴びていく様子が勢い

【うみへいったひ】

相野谷 由起：作・絵

ひさかたチャイルド Eウ



水族館へ遊びに行った女の子。
さかなたちを見ているうちに、い
つの間にか海の中へ……。詩情
あふれる夏のファンタジー

【ありとすいか】

たむら しげる：作・絵
ポプラ社 Eア



ある暑い夏の午後、ありがすいか
をみつけてやってきました。これは
うまいぞ、楽に運ぼう、ということ
になりました。さて……。

【どんなにきみがすきだかあててごらんなつのおはなし】

サム・マクブラットニィ：ぶん 評論社 Eド



小さな茶色いノウサギと大きな茶色
いノウサギは、夏の白、川辺までおり
ていきました。青、赤、黄色…夏の野原
はいろいろな色でいっぱいです。いち
ばん好きな色はどれかな？大の仲よし
のチビウサギとデカウサギのお話。